No.7　2022年 6月発行

# 大曲高等学校　校舎棟建設工事　工事だより

『 今年も夏が近づいてきました 』

一時涼しく過ごしやすくなったかと思いきや、また気温の高い日が続いています。
梅雨の時期は湿度の高さも相まって気温以上に不快感を感じてしまいます。
突然の豪雨や落雷など天候もめまぐるしく変わり、天気予報画面とのにらめっこが日課になっている方も多いのではないでしょうか。暑い季節を元気に乗り切るため、夏本番に向けて万全な体調で迎えましょう。

『 工事現場の進捗の様子をご紹介します』

６月に入ってからは完成した基礎の周りと内側を、土を使用して埋戻しを行いました。
その後、１階の床になる部分（現場では土間と呼びます）の下地作りや断熱材を敷込んだ後鉄筋の組立を行い、コンクリートの打設が完了しています。写真にて様子をお伝えします。

①土工事（埋戻し・ロングアームバックホウ使用）
工事だより№４でご紹介した再生処理を施した改良土と掘削発生土を使用して、基礎の内外を隙間なく埋戻していきます。

②地業工事（砕石地業・防湿層・断熱材敷込み）
水色のフィルムが防湿シートと呼ばれる地面から湿気が上がるのを防ぐ為のものです。
その上に板状の断熱材を全面敷込みます。

③鉄筋工事（土間配筋）
鉄筋を決まった間隔で網の目状に配置します。
正しく配置されているか確認検査を受けます。

④コンクリート工事（土間コンクリート打設）
コンクリートを流し込み、予め計画していた高さで均一に均しながら打設します。

⑤左官工事（土間金ゴテ押え）

左官職人さんが様々な道具を使用して打設後のコンクリートを更に密実に平らに均します。

⑥コンクリート・左官工事（完了）

コンクリート表面がツルツルになるほど綺麗に仕上り完了です。これぞまさに職人技です。

『 機械設備工事の進捗の様子』

建物が生きるのは水や電気などのライフラインがあってこそです。機械設備工事では給水管や排水の為の配管を屋外に埋設して建物が快適に使えるよう準備を進めています。

『 上空からの様子 』※ドローンにて撮影（Ｒ４年６月末時点）

月末現在全工区にて土間コンクリートの打設が完了して、南側よりいよいよ建物の地上部分である躯体工事が進んできています。次号では躯体工事について御紹介したいと思います。

ラフタークレーンが現場に４台！
遠くからでも良く見えます。
台数が多くても作業計画は綿密に
安全作業を継続していきます。

当工事だよりは建築工事JVで執筆しています。
お気づきの点等ありましたら下記までご連絡ください。

大曲高等学校校舎棟（建築）工事　作業所
連絡先：代表　☎ 0187-73-8190

工事車両の出入り等で近隣の皆様にはご迷惑をおかけしているところではありますが、引き続き工事へのご理解とご協力をお願い致します。